

平成 29 年度 スキルアップ研修会を実施しました(2018/3/17)

テーマ：防災・減災推進 リーダー育成
場所：災害科学国際研究所 多目的ホール

3月17日(土)、災害科学国際研究所 多目的ホールにおいて、防災・減災リーダー育成を目的とした『スキルアップ研修会』(主催：特定の非営利活動法人日本防災士会・女性局企画・共催：災害科学国際研究所)が開催され、男女60名が参加しました。大学生から70歳代まで南は大坂から北は青森県まで全国から様々な年代の参加者がテーブルを囲み議論を深めました。当研究所から、「わかりやすく伝える防災減災～女性の防災力を生かす活動～」と題して保田真理プロジェクト講師から講演が行われました。自然災害への知識が防災・減災の具体的な行動に結びつくように、リーダーとしてどのように働きかければ地域住民は受け取りやすいのかという課題を提案し、全員で防災・減災スタンプラリーを実施しました。7つのグループに別れて、各自の結果を見ながら、次の災害に備えるために必要なことや具体的な行動に関して、活発な意見交換が行われました。グループプレゼンテーションでは、テーブルごとに出た意見をまとめ、具体的なアイデアが各グループから提案されました。最後の全体討議では、地域住民のコミュニケーションを図りづらくなっている現状や、防災・減災への取り組みを深めるグループとそうではないグループとに分かれてきている社会状況への危機感が紹介され、現状を打開する方策に関して数人から提案がありました。

「子育てをしている母親が自分の大切な子供を守るリーダーになる意識を持って行動すれば、社会はもっと強くなるのでは」などの意見も出されました。

災害科学研究で得られた知見をわかりやすく伝えるいくつかのアイデアは、地域で防災リーダーとして活動する人材のスキルアップに繋がり、社会の防災減災に寄与していく人材を増加させることにつながっていくと考えられます。



講演の様子



グループワーク



グループプレゼンテーション



グループプレゼンテーション